

2011年度 先進的大学評価システム調査事業

海外大学における内部質保証に対する調査報告書 (アメリカ編)

西部地区基準協会
サンフランシスコ州立大学
サンフランシスコ大学
南カリフォルニア大学
カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校

法政大学

2012年12月

■はじめに

2012年2月13日～19日、アメリカ西海岸にある西部地区基準協会を訪問し評価システムの概要の調査を行った。さらにサンフランシスコ州立大学、サンフランシスコ大学、南カリフォルニア大学、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校の4つの大学を訪問し、質保証システムの実際についてインタビュー調査を行った。海外における内部質保証システムに関する調査は、昨年のヨーロッパ訪問調査に続くものであるが、今回はアメリカ・カリフォルニア州に存在する機関への訪問である。本学の参考になるような大規模総合型、研究重視型、教育重視型を指向するという観点から訪問先大学を検討した。選定にあたっては先進的な国別の質保証システムの調査実績のある（公財）大学基準協会のご高見をいただいた。各大学での聞き取り項目は主に、①法人および学部内の内部質保証システム、②教育プログラム評価の実際、③ラーニングアウトカム評価の方法と指標などである。

以下、訪問機関別に聞き取った内容を報告する。

■西部地区基準協会（Western Association of Schools and Colleges：WASC）

面談者：Dr. Richard C. Osborn, Vice President, Dr. Diane A. Harvey, Vice President

アメリカでは6地区に分かれて認証評価機関が存在しており、西部地区基準協会は、カリフォルニア州、ハワイ州、グアム、メキシコを管轄している。対象となる4年制大学は163大学である。各大学は6年ごとにWASCによる機関別評価を受ける必要がある。

日本では一般にアメリカの大学は国からの規制をほとんど受けていないというような認識がある。確かに、大学の設置基準に関してはヒアリングしたWASCの評価委員が認めるように日本と比べて非常に緩く、アメリカの通信制大学の場合は、果たして大学の名前を冠してよいのかさえ危ぶまれるものもある。しかし、こうした一部の存在するアメリカの大学に対する見方をアメリカの大学全体に拡大することは誤りであり、一定水準以上にあるアメリカの大学は大学認証評価機関の評価を重視している。

その理由は次のとおりである。アメリカの場合、大学生の多くは連邦政府・州政府からの奨学金を貸与されて大学教育を受けるが、この奨学金は評価機関が高く評価した大学へ通学する学生に優先的に貸与される制度となっている。すなわち、奨学金は基本的には個人の能力や資力に応じて貸与されるのではなく、大学評価機関が発表した大学評価、いわ

ば大学の格づけに応じて貸与枠が決定されている。したがって優秀な学生を集めたい大学は、認証評価結果を重視せざるを得ない。

大学側の対応として、各大学はWASCとの連絡役として役員クラスのLiaison Officerを置いている。そして、評価に関する情報（誰が評価委員に任命されるか等）を収集する目的でWASCとは日常的に接触をおこなっており、WASC対応のために全学的な体制を組んでいる。



■サンフランシスコ州立大学 (San Francisco State University)

面談者 : Dr. Helen Goldsmith, Associate Dean of Undergraduate Studies, Dr. Brian Beatty, Associate Professor and Chair of Graduate College of Education, Instructional Technologies 他 1 名

カリフォルニア州立の高等教育制度には、UC (カリフォルニア大学) システム, CSU (カリフォルニア州立大学) システム, カリフォルニア 2 年制大学 (California Community Colleges, CCC) システム

の 3 種類があり, 研究型大学 (Research University) は UC システム, 他の 2 種類は教育型大学 (Teaching University) として分類されている。サンフランシスコ州立大学は, 後述するカリフォルニア州立大学ロサンゼルス校と同じく CSU システムに所属する 23 大学のひとつである。学生数は 10 学部で学部生 25,000 名, 大学院生 4,200 名。



Degree プログラム毎に実施される毎年のアニュアルレポートでは, 学生のラーニングアウトカム結果を加味して評価している。それに加え 6 年に一度プログラム全体のレビューを行っている。大学全体の質保証委員会を設置し, 学部単位では, Council (Team) を構成して質保証に取り組んでいる。外部評価委員には, 他の CSU 系大学の教員を委嘱している。

■サンフランシスコ大学 (University of San Francisco : USF)

面談者 : Dr. William D. Murry, Academic Affairs, Office of Student Learning Assurance, Dr. Shirley McGuire, Associate Dean for Faculty Scholarship & Academic Effectiveness, College of Arts & Sciences

USF は, サンフランシスコ中心街から車で西へ 30 分位の高台に位置して, キャンパスの高層階からは非常に見晴しがよい。1855 年に創立された大学でイエズス会の伝統に基づき, 世界中で指導的地位につくにふさわしい人物を育成するため, 質の高い教育を行っている。学生総数 9,600 名, そのうち 5,600 名がフルタイムの学部学生である。

大学の質保証部局では, 専任職員は, 室長 (Director) と上級研究員 (Senior Researcher) の 2 名しかおらず, その他は有期雇用者で業務をこなしている。

学部レベルの質保証については, 次の 2 種類がある。すなわち①Learning Outcomes (3 年毎) および ②Program Review (7 年ごと実施) で, 3 名の外部評価者が来ることになっ



ている。

大学全体の質保証については、WASC による Institutional Review がある。WASC の評価は、まず①Capacity & Preparatory Review であるが、これは大学の収容力に対する評価や財政の検査も含まれている。もうひとつは、②Educational Effectiveness Review であり、



教育効果の側面を評価される。評価者は WASC のスタッフと、評価のために選任された他大学の教員によって構成されている。ほぼ 10 年間隔だが、2 種類あるので 5 年間に 2 度ということもある。面談者によれば、大学教育の質保証とは、若年者を教育することであり、当大学の教育を受けた学生の質が大学教育の成果物であるとの認識がある。

5～6年前までは大学評価についてはあまり力がはいらなかったが、近年は緊張感が高まっている。2006 年に Higher Education Law が成立し、大学評価が義務化された。州政府の高等教育部門、連邦政府の教育省からの補助金と研究費獲得により大学のアウトカム評価が向上していることが客観的に証明されれば、次なる研究補助金および学生への奨学金が得られやすくなるというシステムに移行している。

USF に限らず、各大学は大学評価に対して真剣にならざるを得ない状況になっている。

■南カリフォルニア大学 (University of Southern California : USC)

面談者 : Dr. Robin Romans, Associate Provost for Undergraduate Programs

Los Angeles 市内にある有名私立校。1880 年設立、西海岸最古の名門私立大学であり、研究型大学 (Research University) である。面談者によれば、名門であるという意味は、入学時 GPA が高いこと、学費が高いことの 2 通りに解釈できるという。その場合、学費の高さは裕福な子女を通わせているということで、プラス効果を持つのであろう。私立大学から始まったアメリカの大学教育の伝統を感じさせるものであった。同大学はアメリカン・フットボールチームの USC トロージャンズが有名であることをはじめスポーツが盛んである。



学部生約 17,000 名、大学院生と社会人学生合わせて約 21,000 名、合計 38,000 名。男女比率は男性 49.3%、女性 50.7%となっている。

教員 3,200 名、職員 10,800 名 + student workers 7,100 名が在籍しているが、教員数と職員数の比率は、1 : 3 を維持するよう配慮しているとのことである (大学付属病院所属の職員数が多いため)。

入学者クラスの平均 GPA 3.72 (HP 公表値) とのことである。

Professional Accreditation は 4～6 年ごと、WASC による評価は 10 年ごとに受審している。ちなみに WASC への年会費は、\$33,000（\$1=80 円で 264 万円）とのことであった。

プログラム・レビュー（7～8 年ごと）は、学部長が書類を作成している。Learning Outcomes の結果については WASC に提出する必要はない。内部質保証のエビデンスとして、全米で実施されている大規模な標準化テストである CLA（Collegiate Learning Assessment）は、現在は利用していない。CLA を使った調査・分析は、当初 3 年間のみ実施していた。CLA のテスト結果が学生にとって大学の自分の成績とは無関係とわかったと、一生懸命に答えなくなって調査の意味が失われたからであるという。



一般教育課程では Critical Thinking & Writing Class を重視している。1 人 4～6 ページのレポートを何度か提出させ添削して返却している。これには学生アシスタントを含め Writing 担当の教員が専門的に指導にあたっている。一般教育の評価は大学内部でのみ実施のため注意を払っている。専門分野別評価は、WASC の機関評価の対象外であることから対象外としている。

■カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校（California State University, Los Angeles）

面談者：Dr. Cheryl Ney, Associate Vice President for Academic Affairs, Dr. David N. Connors, Acting Director, Program Review and Assessment, Dr. Steve Jones, Acting Dean, Undergraduate Studies, Professor of English 他 3 名

1947 年設置、ロサンゼルス市内にある CSU システムの州立大学のひとつである。6 学部で学部生 15,000 名以上、大学院生は 5,000 名以上が在籍している。



同大学では 6 年間のプログラムレビューが計画化されている。1 年目は自己点検報告書の



作成、2 年目は外部評価委員による評価と学内プログラムレビュー委員会による評価、3 年目はアクションプラン策定と承認、4～5 年目はアクションプランの実施、6 年目にアクションプラン報告といった PDCA サイクルを学部ごとに廻している。同時に Annual Report の際に、CLA（Collegiate Learning Assessment）や NSSE（National Survey of Student Engagement）を利用している（補助金制度あり）。

■おわりに

今回のアメリカ訪問インタビューを通じて、各大学では共通してプログラム評価体制が確立されていることが良くわかった。一つには、その背景として、WASC という認証評価機関による評価結果を、連邦政府および州政府が重視し、教育政策に反映させるとともに、評価を受けた大学に補助金を支給するというシステムがあげられる。特に州立大学では、認証評価（内部質保証）に対して、大学関係者は真剣に取り組んでいる印象を持った。

もうひとつは、外部委員の評価結果や学生のアウトカム評価の結果が内部質保証に有効に活用されている点である。これらの結果を踏まえて学内の評価委員会が評価を行い学長に報告するシステムとなっている。

日本では、第三者による評価が実施される傾向にあるが、今後の評価体制では、これらが教育の質向上をめざす内部質保証システムのなかで有機的に機能するようなくみを含め検討する価値があるのではないかと考えさせられた。

最後に、内部質保証とは最終的には自己目的化すべきではなく、大学の理念や目的に基づく大学戦略の実行状況を自己点検するツールとして、あるいはさらなる教学改革の原動力として活用できるような仕組みを検討する必要があるだろう。その際には IR (Institutional Research) システムと連携して進化させてゆくことも考慮する必要があるだろう。

今回の米国調査はで大変多くのことを学ぶことができた。事前のヒアリングでは大学基準協会の工藤部長はじめスタッフの皆様、そして本学の関係部局の皆様に感謝申し上げます。

(山田佳男)

以上

<出張者>

公文溥	大学評価室長・社会学部教授
上林千恵子	社会学部教授
山田佳男	総長室大学評価室課長

参考資料

2011年度 アメリカ調査訪問先

訪問日	時間	訪問先機関	Contact Person, 対応者, 連絡先等	備考
2/13 (月)	11 : 30~	西部地区基準協会 Western Association of Schools and Colleges	☆ <u>Richard C. Osborn(Dick)</u> , Vice President, Director of Office Management Direct phone: (510)995-3170 Office phone: (510)995-9001 Fax: (510)995-1477, Cell: (707)815-6855 e-mail: rosborn@wascsenior.org ☆ Dr. Diane A. Harvey, Vice President Direct phone: (510)995-3163 Fax: (510)995-1477, Cell: (707)815-6855 e-mail: dharvey@wascsenior.org	http://www.wascsenior.org/about/staff
2/13 (月)	14 : 00~	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	☆ <u>Helen Goldsmith</u> , Associate Dean of Undergraduate Studies Phone : 415-338-2206 e-mail: hgold@sfsu.edu ☆ Dr. Brian Beatty, Associate Professor and Chair of Graduate College of Education, Instructional Technologies Phone : 415-338-6833 e-mail: bjbeatty@sfsu.edu ☆ Dr. Yenbo Wu, Associate Vice President of the Division of International Education Phone : 415-338-6377 e-mail: ywu@sfsu.edu	Room 455C in the Administration Building
2/14 (火)	13:00~	サンフランシスコ大学 University of San Francisco	☆ <u>Linda Wong</u> e-mail: wongl@usfca.edu Phone: 415.601.8291 ☆ Dr. William D. Murry (Bill), Director, Office of Student Learning Assurance	Lone Mountain 103

2/16 (木)	14:30~	南カリフォルニア大学 University of South California	e-mail:wmurry@usfca.edu ☆ Dr. Shirley McGuire, Associate Dean for Faculty Scholarship and Academic Effectiveness, College of Arts and Sciences e-mail:mcguire@usfca.edu	ADM 102, Bovard Administration Building 102
2/17 (金)	10 : 00~	カリフォルニア州立大学 ロサンゼルス校 California State University, Los Angeles	☆ Dr. Robin Romans, Ph.D, Associate Provost Accreditation Liaison Officer Phone: (213)740-2101 / Fax: (213)740-7606 e-mail: rromans@usc.edu ☆ Cheryl L. Ney, Associate Vice President for Academic Affairs, Dean of Graduate Studies Phone: (323) 343-3808 e-mail: cney@cslanet.calstatela.edu ☆ David N. Connors, Acting Director, Program Review and Assessment Phone: (323) 343-2737 e-mail: David.Connors@calstatela.edu ☆ Dr. Steve Jones, Acting Dean, Undergraduate Studies, Professor of English ☆ Dr. Cristina Bodinger-deUriarte, Professor, Sociology, College of Natural and Social Sciences ☆ Dr. Gretchen Peterson, Professor, Sociology, College of Natural and Social Sciences ☆ Dr. Holly Menzies, Professor, Special Education and Counseling, Charter College of Education ☆ Dr. Parviz Partow-Navid, Acting Associate Dean, Undergraduate Studies, Professor of Information Systems	Administration Building 704

2011年度 先進的大学評価システム調査事業

海外大学における内部質保証に対する調査報告書（アメリカ編）

西部地区基準協会 サンフランシスコ州立大学 サンフランシスコ大学

南カリフォルニア大学 カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校

発行日：2012年12月

発行人：法政大学総長室付大学評価室

室長 公文 溥

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

電話 03-3264-9903 FAX 03-3264-4077